

滋賀県議会だより

会派別議員数

自由民主党・湖翔クラブ	27人
県民ネットワーク	12人
日本共産党滋賀県議会議員団	2人
公明党	1人
無所属	1人
定数	47人
現員	43人
(平成17年12月21日現在)	

No.36

編集・発行／滋賀県議会 〒520-8577 大津市京町4-1-1 TEL 077-524-1121(代)



「朝のひととき」(草津市・烏丸半島から)

12月定例会の概要

滋賀県議会は、12月定例会を12月1日から21日までの21日間の会期で開きました。

今回の定例会には、「滋賀県議会委員会条例の一部を改正する条例案」をはじめとする議員提出議案10件と「平成17年度滋賀県一般会計補正予算(第5号)」をはじめとする知事提出議案78件の合計88議案が上程されました。これらの審査を行った結果、議員提出議案3件を除き、いずれも原案のとおり可決したほか、9月定例会において継続審査とされていた「平成16年度滋賀県一般会計および各特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて」ほか3件を認定しました。

また、本会議における質疑、質問および討論には、延べ28人の議員が登壇し、県政全般にわたって論議を展開しました。

更に、各委員会においては、付託された各議案、請願その他所管事項について審査および調査を行いました。

議会トピックス

●プレジャーボートの適正な係留保管

プレジャーボートの所有者等に係留保管場所の確保を義務付け、琵琶湖等を係留保管場所として使用することを禁ずるとともに、違反した場合は知事の権限でプレジャーボートを移動し、その費用負担を所有者に求める「滋賀県プレジャーボートの係留保管の適正化に関する条例案」を可決しました。

●公の施設に係る指定管理者の指定

県では、公の施設の管理運営主体として広く民間事業者も指定することのできる指定管理者制度を平成18年4月から導入することとしています。12月定例会では、応募のあったうちから47事業者を公の施設の指定管理者として指定することについて可決しました。

●東海道新幹線(仮称)びわこ栗東駅

東海道新幹線新駅の設置について、知事から年内にJR東海との工事協定の締結を目指す旨の方針が示されたことから、代表質問、一般質問、関連質問合わせて6人の議員が登壇し、その是非に関する厳しい質問も含め、活発な論議が展開されました。

●県議会議員の報酬を削減

議長、副議長および議員の来年度の報酬の額を、それぞれ10%、9%および7%減じる「平成18年度における滋賀県議会議員の報酬の特例に関する条例案」が議員提出され、これを可決しました。このことによる削減額は、約3,300万円になります。